

授業紹介

専門性を生かした4学科の連携カリキュラム 「健康科学概論・演習」

当大学には看護・理学療法・社会福祉・栄養の4学科があり、学生たちは、各学科でそれぞれの専門知識や技術を学んでいきます。そして、多くの卒業生は実際にそれらを活かす専門職として巣立っていきます。その実践現場では、今や多職種連携は「当たり前」の状況となっています。その為の基礎的な知識や技術等の理解を深めようというのが1年次4学科共通の必修科目「健康科学概論・演習」です。健康科学概論では保健医療福祉活動の基本理念・健康科学の基本的な考え方を学び、演習では学生自身が実際に地域の人々の生活や健康の考え方にふれるフィールドワークを行い、連携のための基礎技術を体験的に理解・習得できるようにしております。

保健医療福祉分野においては、専門知識も当然必要ですが、さらに他職種との連携のためのグループワーク、コミュニケーションなども大切なことです。学生のみなさんには、将来、社会において「連携・協調」をはかり、地域の人々のために活躍できる人になってほしいと願っております。

社会福祉学科 准教授 すぎやま かつみ
杉山 克己



サークル紹介

津軽三味線サークル

栄養学科2年 つちや
土谷 みなみ



出身地/函館市
卒業高校/函館市立函館高等学校

大学入試で青森へ訪れた際に、とある観光施設で初めて津軽三味線の音色を聞いたのが入部のきっかけでした。あの「叩く」ような独特のダイナミックな演奏に心を掴まれてしまいました。

サークルの活動日は毎週金曜日。その他の日は自主練習をしています。演奏会や大学祭が近づくと放課後や授業の空き時間を利用して練習しています。

平成22年度は、老人ホームへの訪問演奏や大学祭での演奏など、学内外問わず演奏活動をしてきました。平成22年5月開催の「津軽三味線日本一決定戦」では、嬉しいことに「団体・りんごの部」で3位に入賞できました。

三味線は基礎練習が長いと思いますが、基礎を経て、合奏でみんなの演奏がまとまる時は言葉にしがたい喜びを感じます。現在部員は男女合わせて約20人です。津軽三味線に興味をお持ちの方はいつでも見に来てください!

心に響く
津軽独特「叩き三味線」の音色
まずは基礎練習をしっかりと



自治会活動

自治会活動の実施報告(4~10月)

自治会長 看護学科3年 いよさわ けんたろう
岩沢 健太郎



新入生研修会の企画・運営

4月/新入生がこれから始まる大学生活に心配や悩みを持たず過ごせるよう、サークル・勉強・生活・試験・実習などについて、先輩と会話・相談できる機会を持つため実施しました。

地域清掃活動

春・秋/サークルごとに参加者を募集し、学生100人で浜館地区・自由ヶ丘地区・虹ヶ丘地区のゴミ拾いを実施しました。

学内放置自転車の撤去

10月/学内に放置されている自転車70台を撤去しました。今後、放置自転車の管理・駐輪場のマナー改善を目的に、学生全員にステッカーの配布を検討しています。